

WORLD NO TOBACCO DAY BAN TOBACCO ADVERTISING, PROMOTION AND SPONSORSHIP

世界禁煙デー2013 大阪

2. 大阪府のたばこ・受動喫煙防止対策の推進について
(1) たばこ対策について—健康と格差の観点から—

大阪府立成人病センターがん予防情報センター
田淵 貴大



本日の内容

- ✓ 「社会格差」と「タバコの害に関する格差」の関連
- ✓ 禁煙化の格差を受けて公平性の議論が必要
- ✓ 全職場の禁煙化の必要性



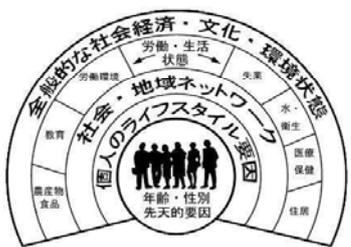
格差社会?!

人種
性別
年齢
所得・貯蓄
学歴
婚姻状態
職業
子どもの時の環境
社会的つながり



健康は社会で決まる!

健康の社会的決定要因 (Social determinants of health)



社会格差 ↓ 健康格差

(Dahlgren G, and Whitehead M in the Acheson Report, 1998)

健康格差

「地域や社会環境、経済状況の違いによる集団における健康状態の差」



| 階級 | 死亡率 (%) |
|------|---------|
| 一等船室 | 3 |
| 二等船室 | 11 |
| 三等船室 | 58 |

Hall W. Social class and survival on the S.S. Titanic. Soc Sci Med. 1986; 22(6): 687-90. 正確には「女性/子ども」

日本の健康格差

「地域や社会環境、経済状況の違いによる集団における健康状態の差」

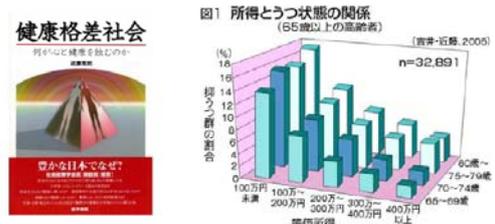
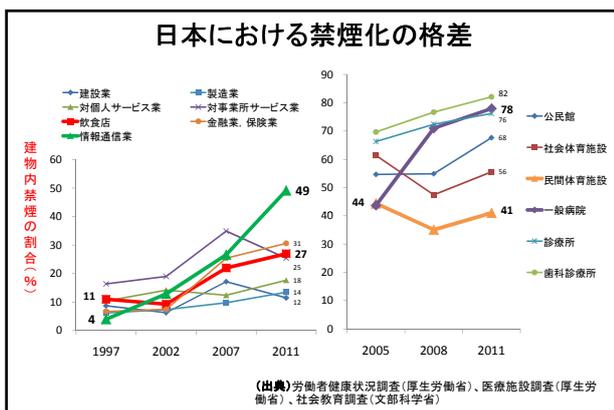
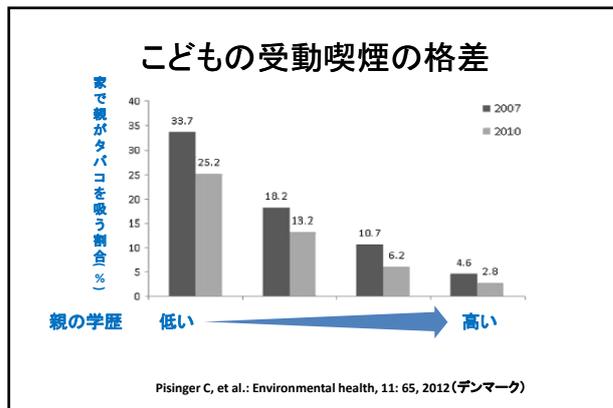
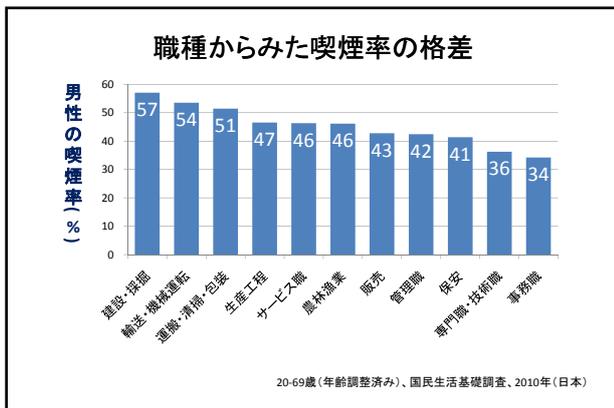


図1 所得とうつ状態の関係 (65歳以上の高齢者) [西澤・近藤, 2005]

| 等価所得 | うつ状態の割合 (%) |
|-------------|-------------|
| 未満 | ~14 |
| 100万円 | ~12 |
| 100万円~200万円 | ~10 |
| 200万円~300万円 | ~8 |
| 300万円~400万円 | ~6 |
| 400万円以上 | ~4 |

うつ状態の割合

60歳~74歳
75~79歳
80歳以上



健康増進法 2003年5月1日施行

第25条 受動喫煙の防止

- 学校、体育館、病院、劇場、観覧場、集会場、展示場、百貨店、事務所、官公庁施設、**飲食店**その他の多数の者が利用する施設を管理する者は、これらを利用する者について、受動喫煙を防止するために**必要な措置**を講ずるように努めなければならない。

分煙ではなく、建物内禁煙化

<http://www.kenkouinippon21.gr.jp>

禁煙化をすすめるキーフレーズ

『誰にも他人に危害を加える権利はない。』

誰もが受動喫煙の害から保護されるべき

誰もが**公平に**受動喫煙の害から保護されるべき

Simon Chapman, Public Health Advocacy and Tobacco Control, 2007
訳本: サイモン・チャプマン、タバコを歴史の遺物にータバコ規制の実際ー

受動喫煙の格差と公平性

オーストラリアではバーや居酒屋等すべての職場が禁煙化されましたが、その過程では「**バーや居酒屋の職員は受動喫煙から守られないというのは公平か?**」といった議論が展開されました。

現在の日本では一部の職場や公共施設のみしか建物内禁煙化とされていません。それは公平なのでしょうか?

みんなで進めよう！タバコ対策

タバコ対策の不公平な現状



みんなで協力して勝ち取ろう！
「タバコのない社会」

公平性の観点から、すべての職員が受動喫煙の害から保護されるように、すべての職場の屋内禁煙化が求められます。

まとめのメッセージ

✓ 社会や環境により健康が決まる。健康と強く関連するタバコの害の格差も大きい。

✓ 現在、日本では一部の職場や公共施設しか禁煙化されていない。それは公平なのでしょうか？誰もが受動喫煙の害から保護されるべきではないでしょうか？

✓ 公平性の観点から、すべての職員が受動喫煙の害から保護されるように、すべての職場の禁煙化が求められる。

